

第38回「県民文化奨励賞」の贈呈について

一般財団法人ケンシン地域振興財団では、地域の文化活動に対する表彰事業を目的として、地域の文化活動の発展に功績のあった方々に「県民文化奨励賞」の贈呈を行いました。

1. 第38回「県民文化奨励賞」贈呈式

日時：令和4年12月19日（月）

場所：ANAクラウンプラザホテル広島

2. 「県民文化奨励賞」受賞者

山浦 めぐみ氏（日本画家） 広島市在住

若狭 和良氏（音楽家） 広島市在住

3. 受賞者の紹介

山浦 めぐみ氏（日本画家）

山浦めぐみ氏は、広島市立大学芸術学部大学院博士後期課程を修了。

人や物、風景が長年蓄積してきた内在的な時間を描くことを共通の制作コンセプトとし、古典材料の持つ魅力と平面絵画の空間概念を現代的な解釈で受け継ぐ新たな日本画表現の探究を続ける。さらに、公益財団法人野村財団2018年度下期奨学助成事業によるドイツ滞在研修では、多角的な視点から日本絵画および自身の制作研究を考察。ドイツでは個展を、アメリカ・ニューヨークでは、グループ展を開催されるなど、国内外での活発な発表も高く評価されている。また、制作活動と併行して、後進の指導にも励まれている。

若狭 和良氏（音楽家）

若狭和良氏は、エリザベト音楽大学器楽学科管弦打楽器コースを卒業。卒業後は、フランスにて研鑽を積まれる。

活動内容は、幅広く、交響楽団への客演、国内外で多くのオーケストラや吹奏楽とソリストととして共演。平成12年から平成17年まで、東京交響楽団首席トロンボーン奏者としても活動。また、全日本マーチングコンテストなど、多くのコンクールで審査委員を務め、管楽器とトロンボーン界発展の為、世界的動向にも注視されている。

平成18年に活動拠点を広島に移し、母校エリザベト音楽大学音楽学部教授、広島大学教育学部客員教授、出雲北稜高校音楽コース講師を務められるほか、全国各地で吹奏楽の指導やトロンボーン塾の開催、海外演奏家の講習会を広島で企画開催するなど後進の指導にも尽力されている。